

1 事業情報

上下水道事業評価(令和2年度)

担当課

上下水道総務課

目指すべき方向性	持続	基本政策	6 経営基盤の強化	施策	6-3 経営体制の強化	事業	6-3-2 広域連携の強化
----------	----	------	-----------	----	-------------	----	---------------

2 事業評価の概要

項目	内容							
基本政策	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。							
事業目的	・水需要の減少、人材の確保などの課題に対し、他の水道事業者と連携し、管理の一体化や施設の共同化などの広域化施策を検討します。 ・水道事故などの危機対応のため、関係団体との連絡体制の構築、情報の共有化を図ります。							
取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	・「埼玉県水道整備基本構想」に基づき、関係団体と検討部会を開催し、水道広域化について検討します。 ・利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会における連携を図ります。 ・公益社団法人日本水道協会における連携を図ります。 ・埼玉県営水道用水購入団体等連絡協議会における連携を図ります。							
期間	令和2年4月 ～ 令和3年3月							
予算額 決算額		予算額			決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位: %
	事業費計	898	898	0	898	898	0	100%
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	0			0			
	その他	898	898		898	898		100%
	人件費	3,239	3,239		3,239	3,239		100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	898	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	100%		
進捗状況	・第7ブロック水道広域化検討部会については、現在のところ開催未定です。 ・利根川・荒川水系連絡協議会は総会・幹事会とも書面で開催し、情報共有を行いました。 ・埼玉県営水道用水購入団体等連絡協議会では埼玉県企業局との意見交換会（書面会議）を開催し、情報共有を行いました。			

4 終了時評価(事業の達成度)

達成状況	・第7ブロック水道広域化検討部会及び埼玉県水道広域化全体会議は新型コロナウイルス感染拡大のため中止になりました。 ・利根川・荒川水系連絡協議会は総会・幹事会とも書面で参加しました。利根荒総合事故訓練に参加し、水質事故が起きた際の連絡方法などを確認できました。 ・埼玉県営水道用水購入団体等連絡協議会では埼玉県企業局との意見交換会(書面会議)を開催し、情報共有を行いました。 ・公益社団法人日本水道協会は、各支部の活動を通じ、情報共有を行いました。
事業達成度	B 予定どおり成果を上げた
事業達成度 C～Eの理由	

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R1	R2	R3	R4
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

6 視点評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
効率性	投入した事業費に見合った成果を出せたか。	B 予定どおりできた	説明責任	顧客やパートナー企業等の意見や苦情に真摯に対応したか。	B 予定どおりできた
有効性	業務指標等の向上に貢献したか。	B 予定どおりできた	組織学習	事業目的達成のため、組織学習を十分行ったか。	B 予定どおりできた

7 総評価

総合評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
B 予定どおり成果を上げた	引き続き、各団体において、他事業者との連携を図ります。	現状維持で継続